

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 701

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 1. 社会教 現年		
事業名	団体育成事業				
細事業名	団体育成事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	平井 静男

## 1. 事業の概要

京都府中部文化芸術祭実行委員会負担金、南丹市婦人会補助金、南丹市PTA連絡協議会補助金、南丹市文化協会連絡協議会補助金、南丹市青少年育成協会補助金、能楽の夕べ実行委員会補助金、八木公民館サークル連絡協議会補助金 他

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域社会の形成や学習機会の拡充の上で重要な役割を担っている社会教育関係団体の自主的な学習活動を育成・支援するため、南丹市社会教育関係団体に対する補助金交付要綱に基づき負担金・補助金を交付することとあわせ、必要に応じ資料作成や事業運営指導を行っている。

### ②事業を実施する必要性

社会教育は市民の生活と直接結びついているのが特徴であることから、社会教育団体の行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内で支援し、南丹市における社会教育の発展を図る。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	4,655	3,500	3,355	2,798	1,735	2,845	2,845
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,655	3,500	3,355	2,798	1,735	2,845
職員等の従事人員	人/年	—	0.32	0.49	0.49			
人件費	千円	—	1,977	2,944	2,888			
事業費総額	千円	—	5,477	6,299	5,686			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

京都中部文化芸術祭実行委員会負担金	600,000円
南丹市婦人会補助金	700,000円
南丹市文化協会連絡協議会補助金	700,000円
能楽の夕べ実行委員会補助金	600,000円

## 5. 事業結果の概要

・美山能楽の夕べ  
 日時 平成22年9月18日（土）18:00～  
 会場 美山かやぶき美術館特設舞台  
 （能、狂言）観客 約350人

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

- ・社会教育委員会での意見を踏まえ、社会教育の普及・向上又は奨励のための事業を支援することにより、南丹市における社会教育の発展に寄与できた。
- ・文化協会連絡協議会については平成23年度に「南丹市文化協会」として新しく組織化される。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

- ・社会教育委員会での意見を踏まえ、社会教育の普及・向上又は奨励のための事業を支援することにより、南丹市における社会教育の発展に寄与できた。
- ・実行委員会形式の社会教育団体の中では、例えば「美山能楽の夕べ」のように地元小学生の舞台発表（能楽教室受講者）を新たに行うなど事業実施に創意工夫が見られ、交付された補助金が有効に活用されている。
- ・一部団体においては、自主的運営を進めていただくべく、運営の支援が必要である。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点  
補助金要綱にある「市内で広域にわたり社会教育活動を行っている」（おおむね旧町単位以上）の規定の概念。
- ②当該事業のアピール事項  
社会教育委員会での意見を踏まえ、社会教育の普及・向上又は奨励のための事業を支援することにより、南丹市における社会教育の発展に寄与している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
一部団体の自主的運営を進めていく必要がある。